

応援シリーズの豊富なラインアップ



「財務応援」 Super/Lite



「給与応援」 Super/Lite

企業独自の
計算式にも
柔軟に対応



「キャッシュフロー分析応援」 Super/Lite



「減価償却応援」

月次償却計算から
リース・レンタル
物件の管理まで

税務申告ソフトも
フルラインアップ



パソコン

パソコンやプリンターなど
ハードを含めた
サポート&サービスが充実



プリンター

新バージョン「財務応援 Super Ver.5」の第一の特徴は、エプソンが財務応援ユーザー専用開設した「データセンター」を利用できること。データセンターとはインターネット接続に関する各種サービスを代行するもので、今回は、会計事務所と企業の間に立って、安全に財務

データを取り取りするための仕組みを提供する。財務応援のユーザーならば、利用は無料だ。

企業と会計事務所が安全につながる

使い始めは送信する相手先やパスワードの設定が必要だが、送信は簡

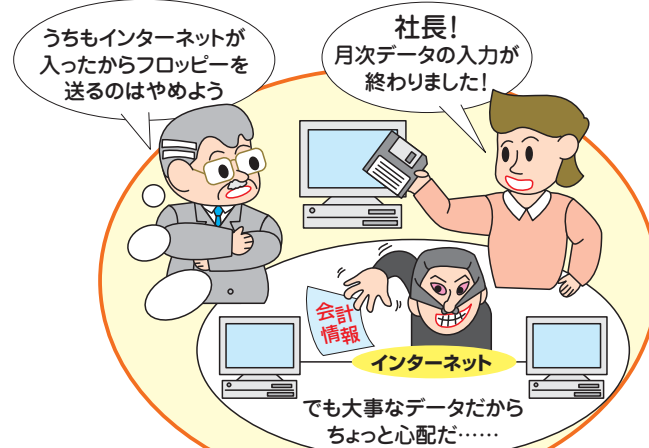
会計事務所との連携に強いエプソン販売の「財務応援」シリーズが、5月にバージョンアップされる。ポイントはインターネット通信機能の強化だ。

インターネットの普及で、企業間の情報をEメールで簡単にやり取りできるようになった。月次の財務データを会計事務所に送る際も、これまではフロッピーディスクに入れて持ち運んでいたものを、Eメールに添付して瞬時に送付することが可能になった。

ただ、会計など重要な情報を扱う場合、オープンな世界であるインターネットはデータ漏洩の点で少々不安がある。また、Eメールは気軽に送れる反面、誤って別の人間に送付してしまう可能性もある。うっかりミスによる事故も心配だ。

セキュリティ対策は必要だが、中小事業所にとって、このためだけに大掛かりなシステムを作るのも難しい状況であろう。

会計事務所での採用実績が豊富なエプソン販売の「財務応援シリーズ」は、この現状を打破し、また来るべき電子申告の時代にいち早く対応するため、インターネット通信機能を強化した新バージョンを発売する。



単だ。財務応援の画面から送信ボタンを押し、パスワードを打ち込むだけ（ブラウザ画面での受信や送信履歴確認も可能。相手特定されているから送り間違いもないし、わざわざメールソフトを開いてファイルを添付する必要もない。これだけの操作で正しくデータが送られるのだ。

もちろん、指定した相手同士でしか情報を見られないし、会計事務所内に複数の所員がいても自分の顧問先以外の情報は開けない。通信はSSL（セキュア・ソケット・レイヤー）という暗号通信に対応し、通信途中で情報が漏洩する危険を防いでいる。データセンターサービスによって、まるで専用の回線が敷かれているかのように財務情報を送受信するルートがつくられたのだ。

このように現場に即した使いやす

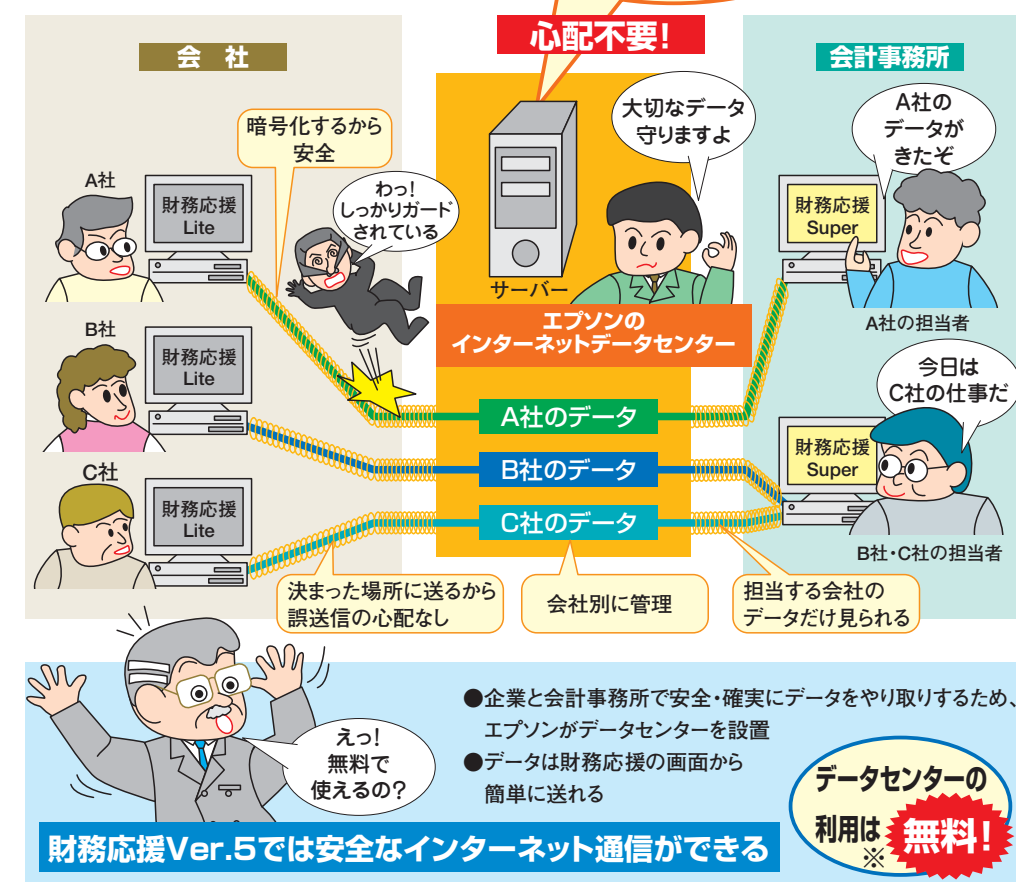
お知らせ

経理業務などで数字入力が多い方に役立つ「ビジネステンキーボード」が3月に発売された。「000」の3桁キーを始め、使用頻度の高いファンクションキーを集中配置するなど、エプソンが会計分野のシステム開発で培ったノウハウが満載されている。人間工学に基づき、長時間使用時の疲労感を軽減する仕様となっている。プロにこそ使って欲しいテンキーボードだ。パソコンとはUSBポートで接続する。価格は3万8000円。（特許出願中）



い機能を他社より早く提供できるのは、コンピューター、プリンターをはじめ情報機器の総合メーカーであるエプソンだからこそ。応援シリーズも「給与応援」「キャッシュフロー分析応援」「減価償却応援」と豊富なラインアップを揃えるほか、3月には経理担当者向けのテンキーボードを新発売した。いずれもオフコン時代からの実績と利用者の声を反映、「業務をよく知る」製品群である。

お問い合わせ先
エプソン販売株式会社
東京都新宿区西新宿6-24-1
西新宿三井ビル24階
電話:03-5321-4179 (直通)
URL:
<http://www.i-love-epson.co.jp/bs/>



※インターネットプロバイダー契約（通信料）及び接続機器は別途必要になります

「財務応援」で 会計データを安全に送受信

会計業務の効率化

